



インベントリ管理タスク

この章では、Cisco License Manager でのインベントリの管理について説明します。この章の構成は次のとおりです。

- 「デバイスの管理」(P.7-1)
- 「PAK の管理」(P.7-20)

デバイスの管理

ここでは、デバイスの管理について説明します。

- 「インベントリへのシスコ デバイスの追加」(P.7-1)
- 「デバイスの削除」(P.7-12)
- 「デバイス グループを使用したデバイスの管理」(P.7-12)
- 「デバイスの検索」(P.7-16)
- 「デバイスのプロパティの表示」(P.7-17)
- 「デバイス情報の更新」(P.7-19)
- 「デバイス グループおよびデバイスへのアクセス コントロール リストの割り当て」(P.7-19)
- 「デバイス接続の確認」(P.7-19)

インベントリへのシスコ デバイスの追加

デバイスを Cisco License Manager データベースに追加する方法がいくつかあります。

- 「デバイスの自動検出」(P.7-2)
- 「Discover Device Assistant を使用したデバイスの検出」(P.7-5)
- 「GUI を使用したデバイスの追加」(P.7-9)



(注)

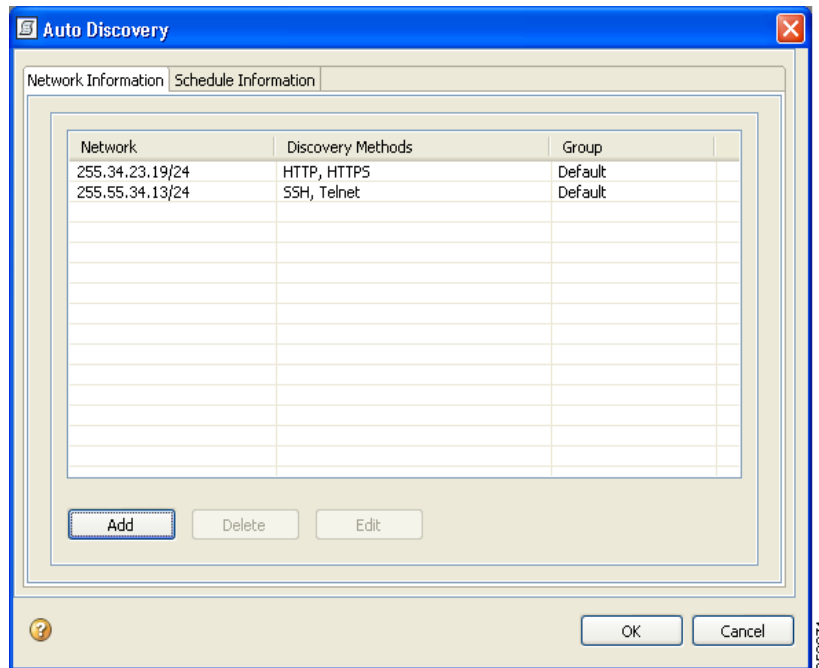
デバイスを作成するには、デバイス UDI またはデバイス IP アドレスを Cisco License Manager に入力します。IP アドレスだけを使用すると、Cisco License Manager はデバイス UDI を検出します。ライセンスを取得するにはデバイス UDI を入手する必要がありますが、ライセンス機能をすべて使用する場合にはデバイス IP アドレスの入手も必須です。

デバイスの自動検出

Cisco License Manager は、あらかじめ定めた間隔で使用中の環境内のデバイスを自動的に検出するように設定できます。デバイスを自動的に検出するように Cisco License Manager を設定するには、次の手順を完了します。

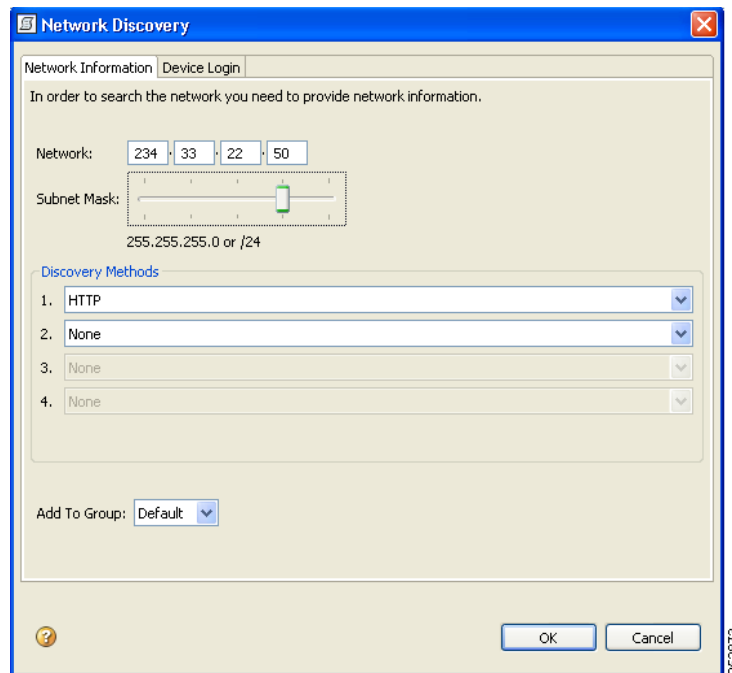
ステップ 1 [Manage] > [Auto Discovery] を選択します。

[Auto Discovery] ダイアログ ボックスが表示されます。[Network Information] ページには、デバイスを検出するネットワーク、検出方法、および検出したデバイスを格納するデバイス グループが表示されます。管理者であれば、さらにネットワークを追加したり、このページに挙げられているネットワークを編集したりできます。それ以外のユーザは、このダイアログ ボックスの内容は表示できますが、編集はできません。



ステップ 2 [Add] をクリックします。

[Network Discovery] ダイアログ ボックスが表示されます。



ステップ 3 次の情報を入力します。

フィールド	説明
[Network]	172.0.0.0 など、デバイスを検出するネットワークの IP アドレス。 (注) 入力した情報が赤に変わる場合は、ネットワーク アドレスのその部分が有効ではないということになる。
[Subnet Mask]	アドレスのどの部分をネットワークの特定に使用し、どの部分でホストを表すかを定義する。

ステップ 4 ドロップダウンメニューから、検出方法を選択します。選択できるのは、HTTP、HTTPS、SSH、および Telnet です。Cisco License Manager は、操作が正常に完了するまで、ユーザが選択した方法をその選択順に試します。



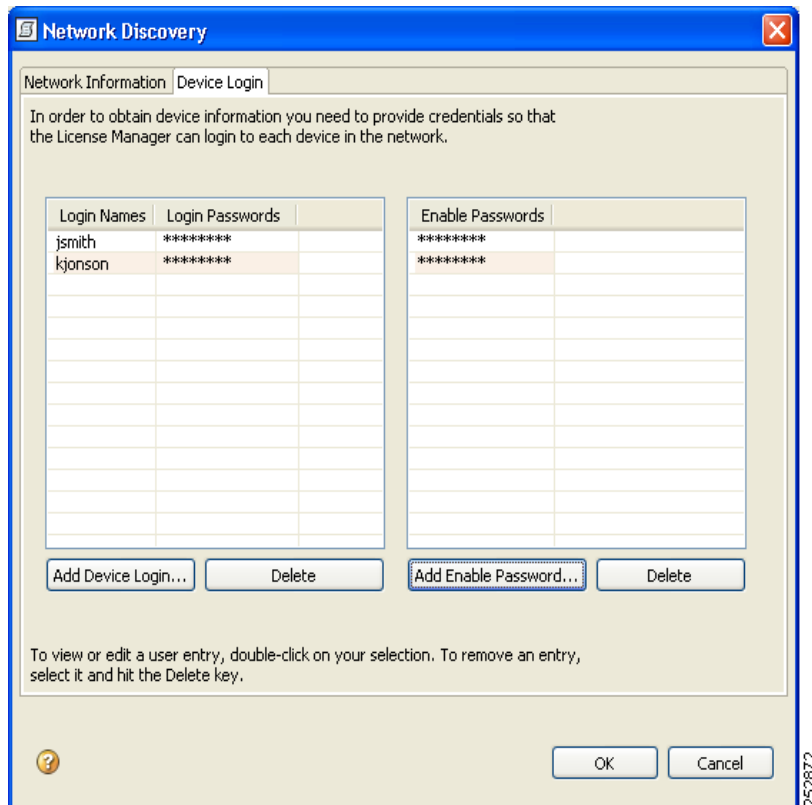
(注) この中で最も時間がかからないのが、HTTP と HTTPS です。Telnet は最も時間がかかり、セキュリティも確保されません。最もセキュリティの高い検出方法は SSH です。

ステップ 5 [Add To Group] ドロップダウンメニューから、新しいデバイスのデバイスグループを選択します。



(注) このドロップダウンメニューには、デバイスの追加先となる既存のデバイスグループのリストが含まれています。新たに検出したデバイスは、デバイスを検出する前に新しいデバイスグループを作成しない限り、Default デバイスグループに表示されます。新しいデバイスグループを作成するには、「デバイスグループの追加」(P.7-13) を参照してください。

ステップ 6 [Device Login] タブをクリックします。
[Device Login] ページが表示されます。



ステップ 7 ネットワーク内のデバイスのログイン情報を指定するには、次の手順を実行します。

- [Add Device Login] をクリックします。[Add Device Login] ダイアログ ボックスが表示されます。
- デバイス ログイン名およびデバイス ログイン パスワードを入力し、パスワードを確認します。
- [Save] をクリックします。



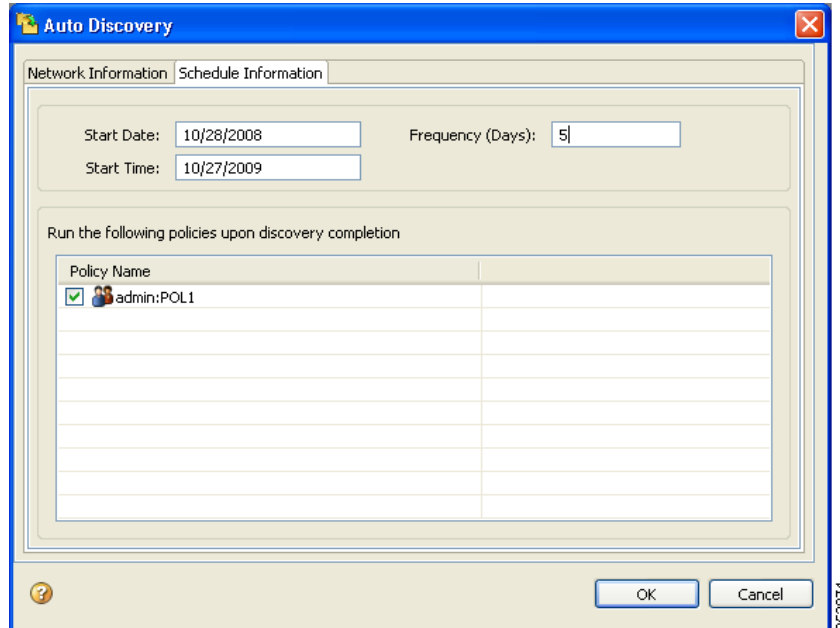
(注) デバイス ログイン名のエンTRIESの総数は 10 件です。



(注) エントリを編集または表示するには、そのエントリをダブルクリックします。デバイス ログイン情報を削除するには、そのエントリを選択し、[Delete] をクリックします。

ステップ 8 デバイス ログインおよびイネーブル パスワード情報を入力した後、[OK] をクリックします。
[Auto Discovery] ダイアログ ボックスが再表示されます。

ステップ 9 [Schedule Information] タブをクリックします。
[Schedule Information] ページが表示されます。



ステップ 10 自動検出操作をスケジュールするには、次の手順を実行します。

- 開始日を mm/dd/yyyy 形式で入力します。
- 開始時間を hh:mm am/pm 形式で入力します。
- 自動検出操作の頻度を入力します。
- 自動検出時に実行するポリシーを選択します。

ステップ 11 [OK] をクリックします。

自動検出ジョブの実行中、ジョブ経過表示を [View Job Status] ウィンドウに表示できます。自動検出操作が完了すると、実行したポリシーのジョブ ステータスが [View Job Status] ウィンドウに表示されます。実行したポリシーごとにジョブが 1 つ存在します。

Discover Device Assistant を使用したデバイスの検出

Discover Device Assistant を使用して、特定のネットワーク内のデバイスを検出できます。また、同じ検出プロセスで新しいデバイス グループを作成し、そのデバイスに関するライセンス情報を収集できます。デバイス ポーリングの代わりに、検出を使用してデバイス ライセンス情報を同期化できます。

進行中の検出操作がある場合、他の検出操作は開始できません。

IP アドレスを使用してデバイスを追加すると、UDI とデバイス ID のパラメータがデータベースに自動的に追加されます。

検出を実行するたびに、デバイス認証情報、ネットワーク アドレス、およびサブネット マスクが格納されます。検出をスケジュールリングすると、新たな検出のたびに、Cisco License Manager はこの格納された情報を使用して、新しいデバイスが追加されているかどうかを確認し、レポートを生成します。また、検出が終わるたびに実行するポリシーを指定することもできます。

**注意**

検出の際、デバイス表示名を除き、古くなったデータや手動で入力したデータが上書きされます。

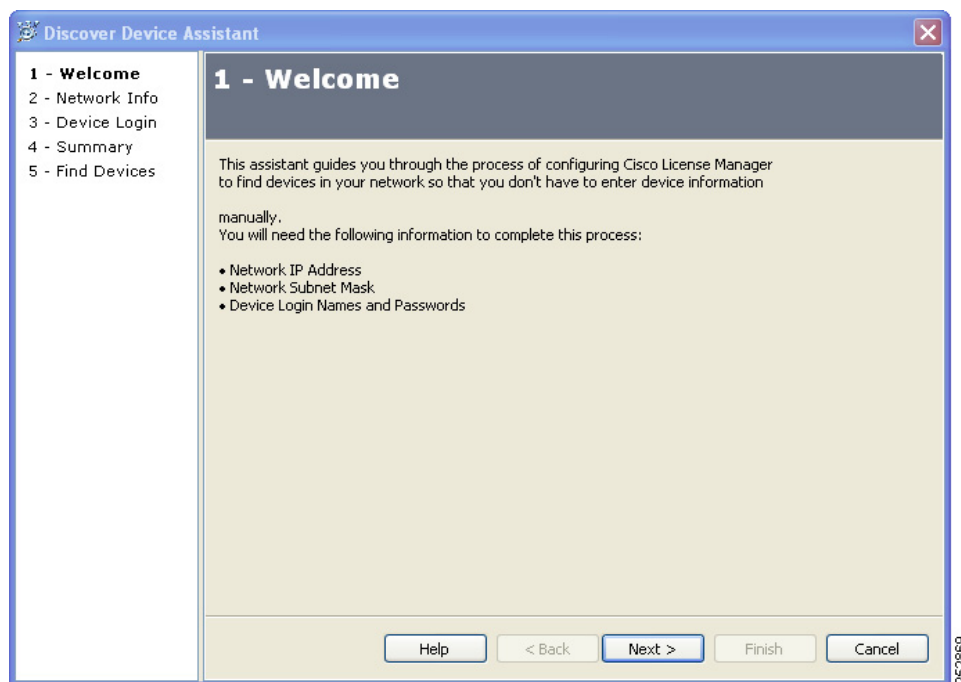
**ヒント**

始める前に、ネットワーク IP アドレス、ネットワーク サブネット マスク、およびデバイス ログイン名とパスワードが手元にあることを確認します。

Discover Device Assistant を使用してデバイスを検出するには、次の手順を完了します。

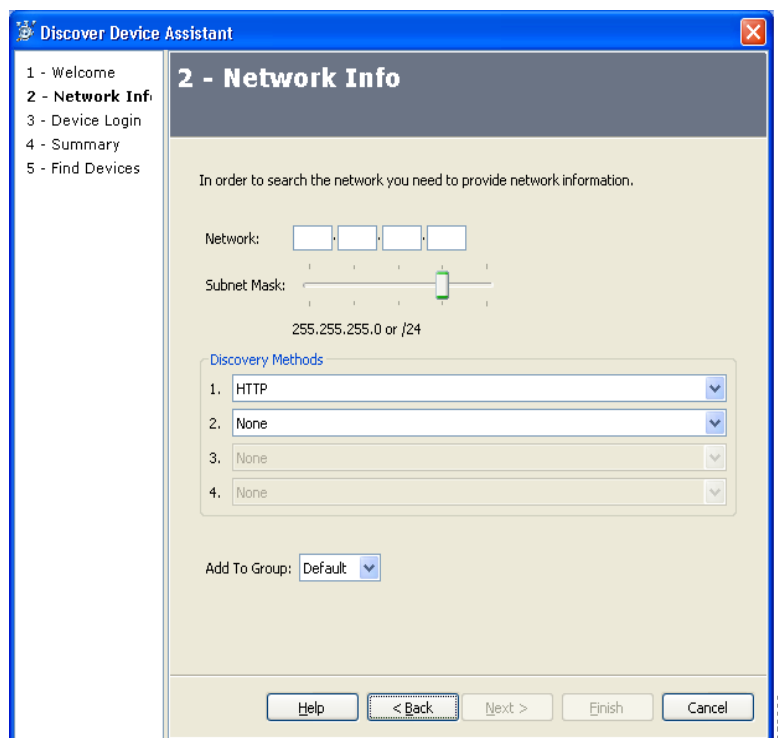
ステップ 1 [Quick Links] ペインで、[Discover Devices] をクリックします。

Discover Devices Assistant の初期画面が表示されます。Discover Devices Assistant に従うと、ネットワーク内のシスコ デバイスを検出するために必要な手順を実行できます。



ステップ 2 [Next] をクリックします。

[Network Info] 画面が表示されます。



ステップ 3 次の情報を入力します。

フィールド	説明
[Network]	172.0.0.0 など、デバイスを検出するネットワークの IP アドレス。 (注) 入力した情報が赤に変わる場合は、ネットワーク アドレスのその部分が有効ではないということになる。
[Subnet Mask]	アドレスのどの部分をネットワークの特定に使用し、どの部分でホストを表すかを定義する。

ステップ 4 ドロップダウンメニューから、検出方法を選択します。選択できるのは、HTTP、HTTPS、SSH、および Telnet です。Cisco License Manager は、操作が正常に完了するまで、ユーザが選択した方法をその選択順に試します。



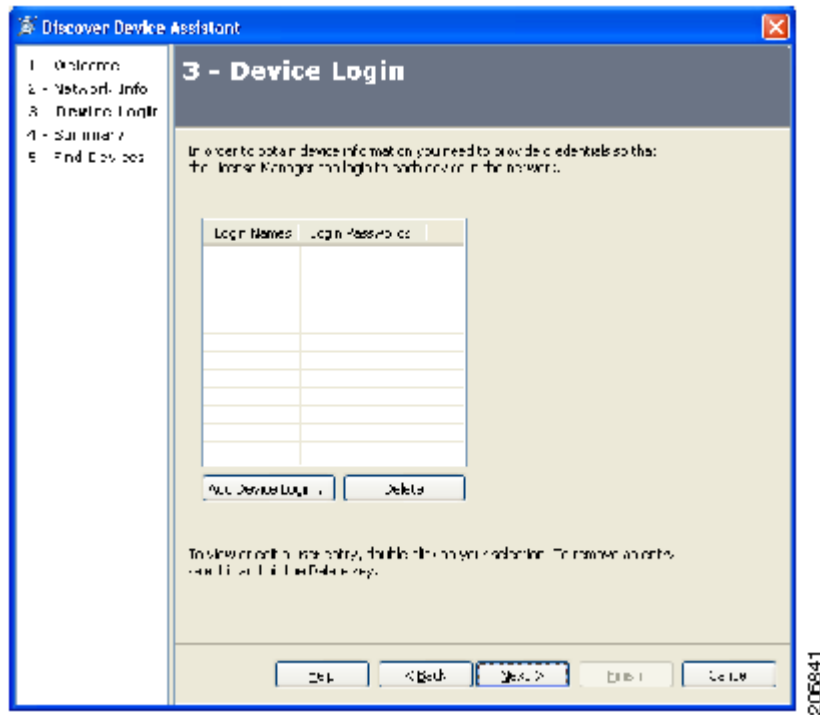
(注) この中で最も時間がかからないのが、HTTP と HTTPS です。Telnet は最も時間がかかり、セキュリティも確保されません。最もセキュリティの高い検出方法は SSH です。

ステップ 5 [Add To Group] ドロップダウンメニューから、新しいデバイスのデバイスグループを選択します。



(注) このドロップダウンメニューには、デバイスの追加先となる既存のデバイスグループのリストが含まれています。新たに検出したデバイスは、デバイスを検出する前に新しいデバイスグループを作成しない限り、Default デバイスグループに表示されます。新しいデバイスグループを作成するには、「[デバイスグループの追加](#)」(P.7-13) を参照してください。

- ステップ 6** [Next] をクリックします。
[Device Login] 画面が表示されます。



- ステップ 7** ネットワーク内のデバイスのログイン情報を指定するには、次の手順を実行します。
- [Add Device Login] をクリックします。[Add Device Login] ダイアログボックスが表示されます。
 - デバイス ログイン名およびデバイス ログインパスワードを入力し、パスワードを確認します。
 - [Save] をクリックします。



(注) デバイス ログイン名のエンTRIESの総数は 10 件です。



(注) エントリを編集または表示するには、そのエントリをダブルクリックします。デバイス ログイン情報を削除するには、そのエントリを選択し、[Delete] をクリックします。

- ステップ 8** デバイス ログインおよびイネーブル パスワード情報を入力した後、[Next] をクリックします。
[Summary] 画面が表示されます。
- ステップ 9** 情報が正しいことを確認し、[Next] をクリックします。正しくない場合は、[Back] をクリックし、情報を修正します。
[Find Devices] 画面が表示され、Cisco License Manager がネットワーク内のシスコ デバイスの検索を開始します。
- ステップ 10** プロセスが完了し、検出したデバイスのリストが表示されたら、[Finish] をクリックします。デバイス ステータスが、[View Alert] ダイアログ ボックスに表示されます。
-

GUI を使用したデバイスの追加

PAK ライセンス ファイルを要求するには、シスコ デバイスを Cisco License Manager インベントリに追加する必要があります。新規デバイスを追加するには、次の手順を完了します。



ヒント

IP アドレスを使用してデバイスを追加すると、UDI とデバイス ID のパラメータがデータベースに自動的に追加されます。UDI だけを使用してデバイスを追加した場合、デバイス ID が自動的にインベントリに追加されます。

- ステップ 1** [Manage] > [Manage Devices] を選択するか、または [Quick Links] ペインの [Devices] をクリックします。
Manage Devices エクスプローラがコンテンツ領域に表示されます。
- ステップ 2** 新規デバイスの追加先となる既存のデバイス グループ フォルダを選択します。
後日デバイスおよびライセンス情報をすぐに見つけて取得できるように、わかりやすいフォルダを選択してください。
- ステップ 3** デバイス グループ フォルダを選択したら、右クリックし、[New Device] を選択します。[New Device] ダイアログ ボックスが表示されます。

ステップ 4 [New Devices] ウィンドウに次の情報を入力します。

フィールド	説明
[Device Name]	デバイス名。わかりやすい名前をユーザが割り当てることができる。 (注) デバイス名を割り当てないと、ホスト名またはデバイス UDI が使用される。
[IP Address]	デバイスの IP アドレス。
[UDI]	Unique Device Identifier (UDI; 固有デバイス識別情報)。製品 ID、シリアル番号、およびバージョンが含まれているシスコ全体での識別子 (任意)。 (注) Cisco License Manager は、デバイスで検出された UDI とは異なる UDI 形式を使用する。Cisco License Manager インベントリでの UDI の形式は、<PID>:<VID>:<SN> である。UDI を使用してデバイスを作成する場合は、この形式で入力する必要がある。
[Transport Method]	転送方法を順に並べたリスト。デバイスは、方法を 1、2、3、4 の順に試す。 承認されている転送方法は、HTTP、HTTPS、SSH、および Telnet である。
[Poll License Information]	デバイス インベントリ内の情報をデバイスと同期する (任意)。



ヒント 手動で入力しなくてもよいように、デバイス検出時に UDI を検出できます。UDI を手動で入力する場合は、必須の形式を使用してください。この情報をデバイスのインベントリに追加できるように、デバイスをポーリングします。

ステップ 7 [Add Device Login] ウィンドウに次の情報を入力します。

フィールド	説明
[Device Login Names]	デバイスにログインしているユーザの名前のリスト（デバイスが認証を必要とする場合を除き任意）。
[Device Login Passwords]	リストに挙げられたユーザがデバイスにアクセスするのに必要なパスワード（デバイスが認証を必要とする場合を除き任意）。
[Confirm Passwords]	パスワードの確認（デバイスが認証を必要とする場合を除き任意）。

- [Add Device Login Information] ボタンをクリックして、ログイン情報をデバイス設定に追加します。または
- リストから 1 つまたは一連のログインを選択し、[Delete] をクリックして、そのログインを無効にし、デバイス コンフィギュレーションから削除します。または
- リストから一連のパスワードを選択し、[Delete] をクリックして、そのパスワードを無効にし、デバイス コンフィギュレーションから削除します。

ステップ 8 [Cancel] をクリックして指摘された変更を無視し、[New Device] ダイアログ ボックスに戻ります。[OK] をクリックして、デバイス コンフィギュレーションに加えた変更を保存します。

デバイスの削除

デバイスを削除するには、次の手順を完了します。



注意

このアクションでは、デバイスがインベントリからも関連するすべてのデバイス グループからも削除されます。

- ステップ 1** [Manage] > [Manage Devices] を選択するか、または [Quick Links] ペインの [Devices] をクリックします。
Manage Devices エクスプローラがコンテンツ領域に表示されます。
- ステップ 2** 削除するデバイスを選択します。
- ステップ 3** 選択したデバイスを右クリックし、[Delete] をクリックします。
[Delete Device] ダイアログ ボックスが表示されます。
- ステップ 4** デバイスを削除する場合は、[Yes] をクリックします。削除しない場合は、[No] をクリックします。

デバイス グループを使用したデバイスの管理

ユーザ自身にとって意味のあるスキームに従ってデバイスを編成するには、デバイス グループを使用します。たとえば、機能別、地域別、または作業場所別にデバイスを編成できます。1 つのデバイスを複数のデバイス グループに所属させることができます。デバイス グループを作成しない場合は、Default というデフォルトのデバイス グループを使用する必要があります。デバイス グループには、任意の数のデバイスを含めることができます。

デバイス グループに関するタスクは次のとおりです。

- 「デバイス グループの追加」 (P.7-13)
- 「デバイス グループ名の変更」 (P.7-13)
- 「デバイス グループの削除」 (P.7-14)
- 「デバイス グループのリフレッシュ」 (P.7-14)
- 「既存のデバイス グループへのデバイスの追加」 (P.7-14)
- 「デバイス グループからのデバイスの削除」 (P.7-15)
- 「別のデバイス グループへのデバイスの移動」 (P.7-15)

デバイス グループの追加

新しいデバイス グループを追加するには、次の手順を完了します。

-
- ステップ 1** [Manage] > [Manage Devices] を選択するか、または [Quick Links] ペインの [Devices] をクリックします。
- Manage Devices エクスプローラがコンテンツ領域に表示されます。
- ステップ 2** [New Group] ボタンをクリックするか、または [Manage] > [New Device Group] を選択します。
- [New Group] ダイアログ ボックスが表示されます。
- ステップ 3** ダイアログ ボックスに新しいデバイス グループの名前を入力し、[OK] をクリックします。
- 新しいデバイス グループ名が、Manage Devices エクスプローラに表示されます。



(注) デバイス グループの名前付けの詳細については、「命名規則について」 (P.9-7) を参照してください。

デバイス グループ名の変更

デバイス グループの名前を変更するには、次の手順を完了します。

-
- ステップ 1** [Manage] > [Manage Devices] を選択するか、または [Quick Links] ペインの [Devices] をクリックします。
- Manage Devices エクスプローラがコンテンツ領域に表示されます。
- ステップ 2** デバイス グループを右クリックし、[Rename Group] を選択します。
- [Rename Group] ダイアログ ボックスが表示されます。
- ステップ 3** デバイス グループの新しい名前を入力します。
- ステップ 4** [OK] をクリックします。
- 新しいデバイス グループ名が、Manage Devices エクスプローラに表示されます。



(注) デバイス グループの名前付けの詳細については、「[命名規則について](#)」(P.9-7) を参照してください。

デバイス グループの削除

デバイス グループを削除するには、次の手順を完了します。

- ステップ 1** [Manage] > [Manage Devices] を選択するか、または [Quick Links] ペインの [Devices] をクリックします。
- Manage Devices エクスプローラがコンテンツ領域に表示されます。
- ステップ 2** デバイス グループを右クリックし、[Delete] を選択します。
- [Delete Group] ダイアログ ボックスが表示されます。
- ステップ 3** デバイス グループを削除する場合は、[Yes] をクリックします。削除しない場合は、[No] をクリックします。



(注) 削除しようとしているデバイス グループに、他のデバイス グループには属していないデバイスが含まれている場合、そのデバイスはデフォルトのデバイス グループに移動します。

デバイス グループのリフレッシュ

既存のデバイス グループの内容をリフレッシュするには、まずそのデバイス グループを選択します。右クリックして [Refresh] を選択します。

フォルダが最新の内容で再表示されます。

既存のデバイス グループへのデバイスの追加

デバイスを既存のデバイス グループに追加すると、デバイスのコピーが作成されます。コピーは、ユーザが選択したデバイス グループに配置されます。この操作を使用すると、デバイスを複数のデバイス グループに保存できます。たとえば、機能ベースのデバイス グループや、特定の作業場所に基づくデバイスを作成できます。

既存のデバイス グループにデバイスを追加するには、次の手順を完了します。

- ステップ 1** [Manage] > [Manage Devices] を選択するか、または [Quick Links] ペインの [Devices] をクリックします。
- Manage Devices エクスプローラがコンテンツ領域に表示されます。
- ステップ 2** そのデバイスを右クリックし、[Add to Group] を選択します。

[Select Group] ダイアログ ボックスが表示されます。

ステップ 3 ドロップダウン リストから、デバイスの追加先となるデバイス グループを選択します。

ステップ 4 [OK] をクリックします。

デバイス グループからのデバイスの削除

デバイスは選択したデバイス グループからだけ削除され、デバイスが所属する他のデバイス グループからは削除されません。

デバイス グループからデバイスを削除するには、次の手順を完了します。

ステップ 1 [Manage] > [Manage Devices] を選択するか、または [Quick Links] ペインの [Devices] をクリックします。

Manage Devices エクスプローラがコンテンツ領域に表示されます。

ステップ 2 そのデバイスを右クリックし、[Remove from Group] を選択します。

[Remove from Group] ダイアログ ボックスが表示されます。

ステップ 3 デバイス グループからデバイスを削除する場合は、[Yes] をクリックします。削除しない場合は、[No] をクリックします。



(注) デバイス グループから削除するには、デバイスが別のデバイス グループにも含まれている必要があります。

別のデバイス グループへのデバイスの移動

あるデバイス グループから別のデバイス グループにデバイスを移動できます。コピー機能を使用しない限り、デバイス グループ間でデバイスを移動すると、そのデバイスは元のデバイス グループから削除されます。

デバイスを別のデバイス グループに移動するには、次の手順を完了します。

ステップ 1 [Manage] > [Manage Devices] を選択するか、または [Quick Links] ペインの [Devices] をクリックします。

Manage Devices エクスプローラがコンテンツ領域に表示されます。

ステップ 2 そのデバイスを右クリックし、[Move to Group] を選択します。

[Move to Group] ダイアログ ボックスが表示されます。

ステップ 3 ドロップダウン リストから、デバイスの移動先となるデバイス グループを選択します。

ステップ 4 [OK] をクリックします。

複数のデバイスを別のデバイス グループに移動するには、次の手順を完了します。

ステップ 1 [Manage] > [Manage Devices] を選択するか、または [Quick Links] ペインの [Devices] をクリックします。

Manage Devices エクスプローラがコンテンツ領域に表示されます。

ステップ 2 1つのグループで1つ以上のデバイスを選択し、まとめて別のグループにドラッグします。



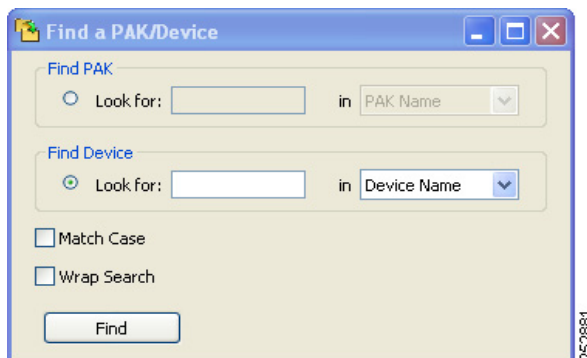
(注) Ctrl キーを押したままデバイスをドラッグすると、選択したデバイスは元のグループから削除されるのではなく、ドラッグ先のグループにコピーされます。

デバイスの検索

PAK またはデバイスを検索するには、[Find] 機能を使用します。PAK またはデバイスを検索するには、次の手順を完了します。

ステップ 1 [Edit] > [Find] をクリックします。

[Find a PAK/Device] ダイアログ ボックスが表示されます。



ステップ 2 PAK を検索するには、[Find PAK] チェックボックスをオンにします。PAK 名 または ID を入力します。

ステップ 3 デバイスを検索するには、[Find Device] チェックボックスをオンにします。検索する情報を入力し、デバイス名、IP アドレス、ホスト名、または UDI を選択します。

ステップ 4 大文字小文字を正確に一致させる場合は、[Match Case] を選択します。

ステップ 5 検索テキストをラップする場合は、[Wrap Search] を選択します。



(注) 検索は、選択した PAK から始まり、[Manage PAK] 画面を下方向に進みます。ツリーの最後の PAK に到達し、[Wrap Search] が有効になっている場合は、PAK ツリーの最上部から検索が継続されます。

ステップ 6 [Find] をクリックします。

デバイスのプロパティの表示

各デバイスには、プロパティが関連付けられています。

デバイスのプロパティを表示するには、次の手順を完了します。

- ステップ 1** [Manage] > [Manage Devices] を選択するか、または [Quick Links] ペインの [Devices] をクリックします。
- Manage Devices エクスプローラがコンテンツ領域に表示されます。
- ステップ 2** 目的のデバイスを右クリックし、[Properties] を選択します。
- [Device Properties] ダイアログ ボックスが表示されます。

Hop Type	IP Address	Port	UserName	Password	Transport	Additional Info
IOS_LOGIN	172.17.205.45	23	admin	*****	Telnet	

- ステップ 3** デバイスのライセンス情報を表示するには、[License] タブを選択します。このタブにある情報は読み取り専用です。
- ステップ 4** 接続情報を表示するには、[Connection Information] タブを選択します。

[Connection Information] ダイアログ ボックスが表示されます。

ステップ 5 デバイスに関する接続情報とそのデバイスに提供する機能を変更するには、新たに情報を入力し、[Apply] をクリックします。

ステップ 6 接続方法に関する情報を表示するには、[Connection Method] タブを選択します。

[Connection Method] ページが表示されます。このページの情報は読み取り専用です。



(注) 接続プラットフォームが 1 つ以上ある場合は、プラットフォームごとに接続方法のタブが表示されます。

Hop Type	IP Address	Port	UserName	Password	Transport	Additional Info
IOS_LOGIN	172.17.205.45	23	admin	*****	Telnet	

ステップ 7 [Device Properties] ダイアログ ボックスを閉じるには、[OK] をクリックします。

デバイス情報の更新

既存のシスコ デバイスの最新情報（ライセンス有効期限など）を収集し、デバイス インベントリの情報を同期するには、[Poll Licenses] を使用します。

Cisco License Manager は、次の 2 つの方法でライセンスを同期します。

- GUI : [Poll Licenses] を使用して、ライセンス情報を更新します。
- API : PollDevicesLicenseInfo コールを使用して、デバイスのリストを提供します。

デバイス情報を更新するには、次の手順を完了します。

-
- ステップ 1** [Manage] > [Manage Devices] を選択するか、または [Quick Links] ペインの [Devices] をクリックします。
- Manage Devices エクスプローラがコンテンツ領域に表示されます。
- ステップ 2** 目的のデバイスを右クリックし、[Poll Licenses] を選択します。
- [Poll Licenses] ダイアログ ボックスが表示されます。
- ステップ 3** [Yes] をクリックします。
- ステータス ウィンドウが表示されます。エラー メッセージが返された場合は、デバイス UDI および IP アドレスが正しく入力されていることを確認します。
- ステップ 4** プロセスが完了すると、確認のウィンドウが表示されます。[OK] をクリックしてウィンドウを閉じます。
-

デバイス グループおよびデバイスへのアクセス コントロール リストの割り当て

デバイスまたはデバイス グループを選択し、右クリックして、[Assign Access Control List] を選択すると、[Edit Access Control List] ダイアログ ボックスが表示されます。

このダイアログ ボックスは、ユーザ アクセスをデバイスまたはデバイス グループに割り当てる場合に使用します。管理者だけがアクセス リストを変更できます。

このダイアログ ボックスには、Cisco License Manager ユーザ名のリストが表示されます。各ユーザ名の前に、チェックボックスがあります。そのボックスをオンにすると、対応するユーザがデバイスおよびデバイス グループにアクセスできるようになります。オフにすると、アクセスできません。

ユーザ名をオフにし、[Allow None] をオンにすると、管理者だけがグループにアクセスできます。[Allow None] をオフにすると、すべてのユーザがグループにアクセスできます。

デバイス接続の確認

現在の設定方法（HTTP、SSH、または Telnet）を使用して、Cisco License Manager とデバイスとの間に接続があるか確認するには、[Check Device Connection] 機能を使用します。

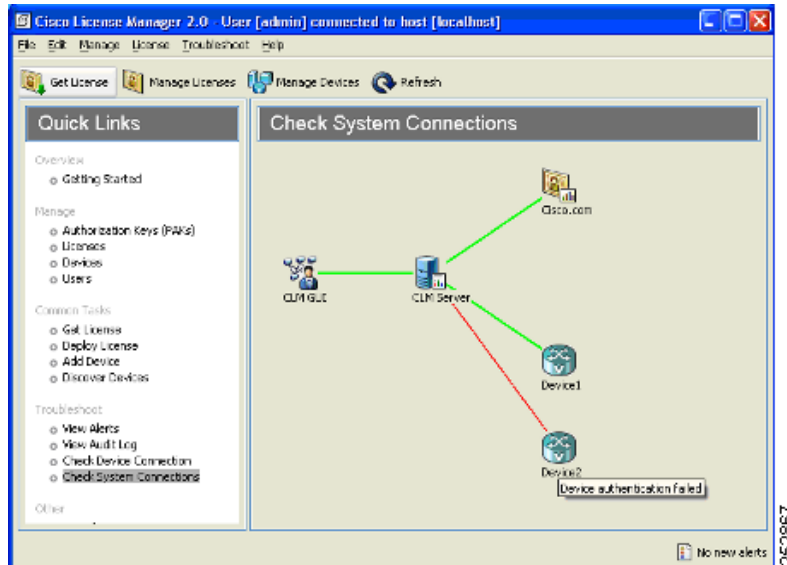
デバイス接続を確認するには、次の手順を完了します。

ステップ 1 デバイス接続を確認するには、次のいずれかの操作を実行します。

- [Troubleshoot] > [Check Device Connection] をクリックするか、または [Quick Links] ペインの [Check Device Connection] をクリックします。[Select Device] ダイアログ ボックスが表示されます。確認するデバイスを選択し、[OK] をクリックします。

または

- 目的のデバイスを右クリックし、[Check System Connections] を選択します。[Check System Connections] ダイアログ ボックスが表示されます。[Yes] をクリックします。
[Check System Connections] ウィンドウが表示されます。



(注)

[Manage Devices] から、1 つ以上のデバイスを選択して、[Check System Connections] を開くこともできます。図は、Cisco License Manager サーバから選択した各デバイスへの接続を示しています。緑色のリンクは、Cisco License Manager サーバによって接続が正常に確認されたことを表しています。赤色のリンクは、Cisco License Manager サーバによって接続が確認できなかったことを示しています。

ステップ 2 接続の確認が完了すると、ポップアップ ウィンドウが開き、操作結果が示されます。[Close] をクリックします。

PAK の管理

ここでは、PAK の管理について説明します。

- 「PAK の追加」 (P.7-21)
- 「PAK の削除」 (P.7-22)
- 「フォルダを使用した PAK の管理」 (P.7-22)
- 「PAK の検索」 (P.7-26)
- 「PAK のプロパティの表示」 (P.7-26)

- 「PAK 情報のダウンロード」(P.7-27)
- 「PAK へのアクセス コントロール リストの割り当て」(P.7-28)

PAK の追加

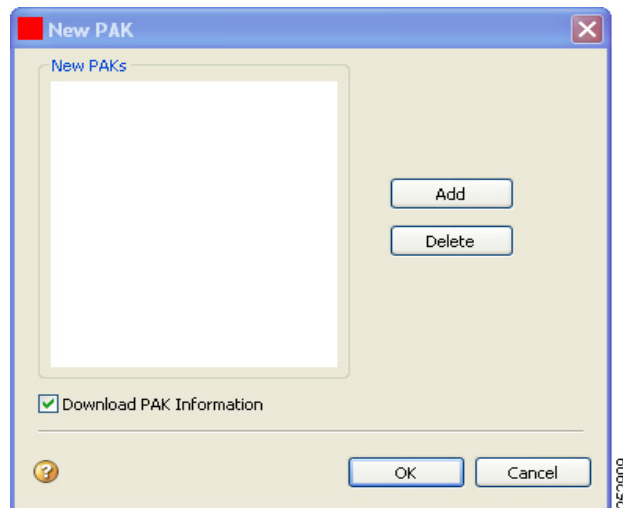
ライセンスをデバイスに展開するには、Cisco.com からデバイスのライセンスを取得できるように有効な PAK を指定する必要があります。新たに PAK を追加するには、次の手順を完了します。



ヒント

この手順を実行する前に、ユーザ プロファイルに Cisco.com パスワードを入力してください。

- ステップ 1** [Manage] > [Manage Authorization Keys (PAK)] を選択するか、または [Quick Links] ペインの [Authorization Keys (PAKs)] をクリックします。
Manage PAKs エクスプローラがコンテンツ領域に表示されます。
- ステップ 2** 新規 PAK の追加先となる既存の PAK フォルダを選択します。
後で PAK と SKU の情報をすぐに見つけて取得できるように、わかりやすいフォルダを選択してください。
- ステップ 3** フォルダを選択したら、右クリックし、[New PAK] を選択します。
[New PAK] ダイアログ ボックスが表示されます。



- ステップ 4** 新たに PAK を追加するときに PAK 情報をダウンロードする場合は、[Download PAK Information] チェックボックスをオンにします。
- ステップ 5** [Add] をクリックします。[New PAK Name] ダイアログ ボックスが表示されます。
- ステップ 6** PAK 名を入力し、[OK] をクリックします。新規 PAK が、[New PAK] ダイアログ ボックスの [New PAKs] ペインに表示されます。



(注) PAK は製品に付属しています。ソフトウェア アップグレードを注文した場合は、シスコから電子メールで受け取っているはずですが、さらに PAK を追加する場合は、手順 3 および 4 を繰り返します。

- ステップ 7** 新規 PAK が [New PAK] ダイアログ ボックスの [New PAKs] ペインに表示されているとおりにあることを確認し、[OK] をクリックします。
- ステップ 8** デバイスの PAK 名を入力し、[OK] をクリックします。
- PAK が、選択したフォルダに表示されます。Cisco License Manager に保管されているパスワードおよび PAK は暗号化されます。
-

PAK の削除

ライセンスが関連付けられている PAK は削除できません。PAK を削除するには、次の手順を完了します。

- ステップ 1** [Manage] > [Manage Authorization Keys (PAK)] を選択するか、または [Quick Links] ペインの [Authorization Keys (PAKs)] をクリックします。
- Manage PAKs エクスプローラがコンテンツ領域に表示されます。
- ステップ 2** 削除する既存の PAK を選択します。
- ステップ 3** 右クリックし、[Delete] を選択します。
- [Delete PAK] ダイアログ ボックスが表示されます。
- ステップ 4** [Yes] をクリックして、この PAK の削除を確認します。
- PAK がフォルダから削除されます。
-

フォルダを使用した PAK の管理

使いやすく論理的な方法で PAK を編成するには、フォルダを使用します。フォルダ管理に関するタスクは次のとおりです。

- 「PAK フォルダの追加」(P.7-22)
- 「PAK フォルダ名の変更」(P.7-23)
- 「PAK フォルダの削除」(P.7-23)
- 「PAK フォルダのリフレッシュ」(P.7-24)
- 「既存のフォルダへの PAK の追加」(P.7-24)
- 「フォルダからの PAK の削除」(P.7-24)
- 「別のフォルダへの PAK の移動」(P.7-25)

PAK フォルダの追加

新たに PAK フォルダを追加するには、次の手順を完了します。

**ワンポイントアドバイス**

デフォルトの PAK フォルダを使用する場合は、この手順をスキップできます。

- ステップ 1** [Manage] > [Manage Authorization Keys (PAK)] を選択するか、または [Quick Links] ペインの [Authorization Keys (PAKs)] をクリックします。
Manage PAKs エクスプローラがコンテンツ領域に表示されます。
- ステップ 2** [New Folder] ボタンをクリックします。
[New Folder] ダイアログ ボックスが表示されます。
- ステップ 3** ダイアログ ボックスに新規 PAK フォルダの名前を入力し、[OK] をクリックします。
新規 PAK フォルダ名が、Manage PAKs エクスプローラに表示されます。



(注) PAK フォルダの名前付けの詳細については、「命名規則」(P.9-7) を参照してください。

PAK フォルダ名の変更

PAK フォルダの名前を変更するには、次の手順を完了します。

- ステップ 1** [Manage] > [Manage Authorization Keys (PAK)] を選択するか、または [Quick Links] ペインの [Authorization Keys (PAKs)] をクリックします。
Manage PAKs エクスプローラがコンテンツ領域に表示されます。
- ステップ 2** 目的の PAK フォルダを右クリックし、[Rename Folder] を選択します。
[Rename Folder] ダイアログ ボックスが表示されます。
- ステップ 3** フォルダの新しい名前を入力します。
- ステップ 4** [OK] をクリックします。
新規 PAK フォルダ名が、Manage PAKs エクスプローラに表示されます。



(注) デバイス グループの名前付けの詳細については、「命名規則」(P.9-7) を参照してください。

PAK フォルダの削除

PAK フォルダを削除するには、次の手順を完了します。

- ステップ 1** [Manage] > [Manage Authorization Keys (PAK)] を選択するか、または [Quick Links] ペインの [Authorization Keys (PAKs)] をクリックします。

Manage PAKs エクスプローラがコンテンツ領域に表示されます。

ステップ 2 目的の PAK フォルダを右クリックし、[Delete] を選択します。

[Delete Folder] ダイアログ ボックスが表示されます。

ステップ 3 PAK フォルダを削除する場合は、[Yes] をクリックします。削除しない場合は、[No] をクリックします。



(注) 削除しようとしているフォルダに、別のフォルダに属していない PAK が含まれている場合、その PAK はデフォルトのフォルダに移動します。

PAK フォルダのリフレッシュ

既存の PAK フォルダの内容をリフレッシュするには、まずそのフォルダを選択します。右クリックして [Refresh] を選択します。

フォルダが最新の内容で再表示されます。

既存のフォルダへの PAK の追加

PAK を既存のフォルダに追加すると、PAK のコピーが作成されます。コピーは、ユーザが選択したフォルダに配置されます。この操作を使用すると、PAK を複数のフォルダに格納できます。たとえば、機能ベースの PAK フォルダや、特定の作業場所に基づくフォルダを作成できます。

既存の PAK フォルダに PAK を追加するには、次の手順を完了します。

ステップ 1 [Manage] > [Manage Authorization Keys (PAK)] を選択するか、または [Quick Links] ペインの [Authorization Keys (PAKs)] をクリックします。

Manage PAKs エクスプローラがコンテンツ領域に表示されます。

ステップ 2 その PAK を右クリックし、[Add to Folder] を選択します。

[Select Folder] ダイアログ ボックスが表示されます。

ステップ 3 ドロップダウン リストから、PAK の追加先となる PAK フォルダを選択します。

ステップ 4 [OK] をクリックします。

フォルダからの PAK の削除

PAK は選択したフォルダからだけ削除され、PAK が所属する他のフォルダからは削除されません。

PAK フォルダから PAK を削除するには、次の手順を完了します。

ステップ 1 [Manage] > [Manage Authorization Keys (PAK)] を選択するか、または [Quick Links] ペインの [Authorization Keys (PAKs)] をクリックします。

Manage PAKs エクスプローラがコンテンツ領域に表示されます。

ステップ 2 その PAK を右クリックし、[Remove from Folder] を選択します。

[Remove from Folder] ダイアログ ボックスが表示されます。

ステップ 3 PAK フォルダから PAK を削除する場合は、[Yes] をクリックします。削除しない場合は、[No] をクリックします。



(注) 削除しようとしている PAK が別のフォルダにない場合、その PAK はデフォルトのフォルダに移動します。

別のフォルダへの PAK の移動

PAK をフォルダ間で移動できます。PAK をフォルダ間で移動すると、その PAK が元のフォルダから削除されます。

PAK を別の PAK フォルダに移動するには、次の手順を完了します。

ステップ 1 [Manage] > [Manage Authorization Keys (PAK)] を選択するか、または [Quick Links] ペインの [Authorization Keys (PAKs)] をクリックします。

Manage PAKs エクスプローラがコンテンツ領域に表示されます。

ステップ 2 その PAK を右クリックし、[Move to Folder] を選択します。

[Move to Folder] ダイアログ ボックスが表示されます。

ステップ 3 ドロップダウン リストから、PAK の移動先となる PAK フォルダを選択します。

ステップ 4 [OK] をクリックします。

複数の PAK を別のフォルダに移動するには、次の手順を完了します。

ステップ 1 [Manage] > [Manage Authorization Keys (PAK)] を選択するか、または [Quick Links] ペインの [Authorization Keys (PAKs)] をクリックします。

Manage PAKs エクスプローラがコンテンツ領域に表示されます。

ステップ 2 1 つのフォルダで 1 つ以上の PAK を選択し、まとめて別のフォルダにドラッグします。

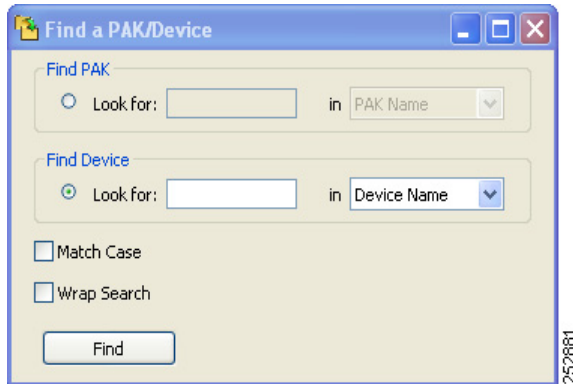


(注) Ctrl キーを押したまま PAK をドラッグすると、選択した PAK がドラッグ先のフォルダにコピーされます。

PAK の検索

PAK またはデバイスを検索するには、[Find] 機能を使用します。PAK またはデバイスを検索するには、次の手順を完了します。

- ステップ 1** [Edit] > [Find] をクリックします。
[Find a PAK/Device] ダイアログ ボックスが表示されます。



- ステップ 2** PAK を検索するには、[Find PAK] チェックボックスをオンにします。PAK 名 または ID を入力します。
ステップ 3 デバイスを検索するには、[Find Device] チェックボックスをオンにします。検索する情報を入力し、デバイス名、IP アドレス、ホスト名、または UDI を選択します。
ステップ 4 大文字小文字を正確に一致させる場合は、[Match Case] を選択します。
ステップ 5 検索テキストをラップする場合は、[Wrap Search] を選択します。



(注) 検索は、選択した PAK から始まり、[Manage PAK] 画面を下方向に進みます。ツリーの最後の PAK に到達し、[Wrap Search] が有効になっている場合は、PAK ツリーの最上部から検索が継続されます。

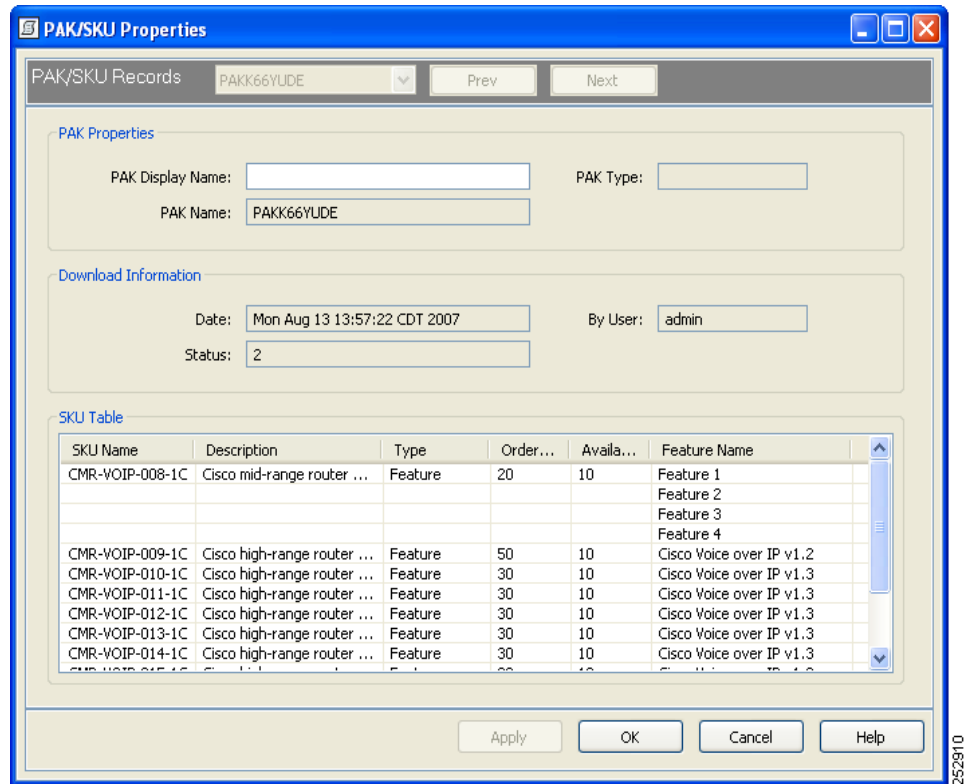
- ステップ 6** [Find] をクリックします。

PAK のプロパティの表示

各 PAK には、プロパティが関連付けられています。

PAK のプロパティを表示するには、次の手順を完了します。

- ステップ 1** [Manage] > [Manage Authorization Keys (PAK)] を選択するか、または [Quick Links] ペインの [Authorization Keys (PAKs)] をクリックします。
Manage PAKs エクスプローラがコンテンツ領域に表示されます。
ステップ 2 目的の PAK を右クリックし、[Properties] を選択します。
[PAK/SKU Properties] ダイアログ ボックスが表示されます。



読み取り専用でない唯一のプロパティ フィールドが [PAK Display Name] です。



(注) [PAK Properties] ダイアログ ボックスのフィールドの詳細については、「PAK のプロパティの表示」(P.7-26) を参照してください。

ステップ 3 PAK 表示名を変更するには、新しい情報を入力し、[Apply] をクリックします。

ステップ 4 [PAK/SKU Properties] ダイアログ ボックスを閉じるには、[OK] または [Cancel] をクリックします。

PAK 情報のダウンロード

[Manage PAKs] エクスプローラ ペインで PAK を選択し、右クリックして、[Properties] を選択すると、[PAK/SKU Properties] ダイアログ ボックスが表示されます。



ヒント

複数の PAK を選択する場合は、[PAK/SKU Properties] ダイアログ ボックスの [Prev] ボタンおよび [Next] ボタンをクリックして、PAK のプロパティをスクロールできます。

このウィンドウは、PAK 表示名を変更し、PAK 情報を表示し、PAK に関連付けられた SKU を一覧表示する場合に使用します。ウィンドウは、[PAK Properties]、[Download Information]、[SKU Table] の3つのセクションからなります。

次の表に、[PAK/SKU Properties] ダイアログ ボックスのフィールドを示します。

フィールド	説明
[PAK Properties]	
[PAK Display Name]	PAK の表示名。Manage PAKs エクスプローラで識別されるように一意の名前を指定できる。 命名規則の詳細については、「命名規則について」(P.9-7) を参照。
[PAK Name]	各製品に付属している PAK 識別子。任意のシリアル番号検索ツールで表示できる。
[PAK Type]	シスコ製品ライセンス登録ポータルから取得される PAK のタイプ。値は、SINGLE または PARTIAL になる。 [PAK Type] が Single Fulfillment (SF; 単一履行) である場合、この PAK のすべての SKU が 1 つにまとめられる。たとえば、どの SKU を指定しても、すべての SKU が選択される。このため、デバイスのライセンスを取得すると、指定したデバイスにすべての SKU のライセンスが供与される。 [PAK Type] が Partial Fulfillment (PF; 部分履行) である場合、この PAK の各 SKU はそれぞれ個別のライセンスとして扱われる。たとえば、そのうちのいずれかの SKU を指定すると、その SKU だけが選択される。このため、デバイスのライセンスを取得すると、指定したデバイスにその SKU のライセンスが供与される。
[Download Information]	
[Date]	PAK を最後にダウンロードした日付と時刻。時刻は、サーバシステムから取得される。
[Status]	最後のダウンロードのステータス。値は常に 0 (ポーリングなし) となる。
[By User]	ダウンロードを開始した担当者のユーザ名。
[SKU Table]	
[SKU Name]	インベントリ用にトラッキングできる特定の製品の識別子 (通常は英数字)。通常、ライセンス機能にマッピングされる。
[Description]	シスコ製品ライセンス登録ポータルから割り当てられるシスコ デバイスの説明。SKU 名とタイプが含まれている。
[Type]	どのタイプの PAK 情報を表示するかを定義する。値は常に Feature となる。
[Ordered Qty]	購入したライセンスの数。
[Available Qty]	展開可能なライセンスの数。
[Feature Name]	Cisco IOS 機能の説明。

PAK へのアクセス コントロール リストの割り当て

PAK を選択し、右クリックして、[Assign Access Control List] を選択すると、[Edit Access Control List] ダイアログ ボックスが表示されます。

このダイアログ ボックスは、ユーザアクセスを PAK に割り当てる場合に使用します。Administrator ロールを持つユーザか、または PAK オーナーだけが、アクセス リストを変更できます。

このダイアログボックスには、Cisco License Manager ユーザ名のリストが表示されます。各ユーザ名の前に、チェックボックスがあります。ボックスをオンにすると、ユーザが PAK にアクセスできるようになります。オフにすると、アクセスできません。

